

はじめに 歯が安易に抜歯されている …… 4

CASE 1 歯が安易に抜歯されている① …… 4

CASE 2 歯が安易に抜歯されている② …… 6

天然歯保存のために

天然歯にこだわる理由=歯根膜があるから …… 8

CASE 3 再生に近い治癒を示す歯根未完成歯の移植 …… 8

抜歯される原因 …… 9

抜歯と診断された歯をどう保存するか …… 10

1. 歯肉縁下カリエス …… 10 ■

CASE 4 矯正の挺出+根尖側移動を伴う骨切除を行った症例 …… 14

CASE 5 矯正の挺出+根尖側移動を伴わない骨切除を行った症例 …… 16

CASE 6 歯肉弁根尖側移動を伴う骨切除を行った症例 …… 20

CASE 7 歯肉弁根尖側移動を伴わない骨切除を行った症例 …… 22

CASE 8 外科的挺出（歯槽窩内移植）を行った症例 …… 24

CASE 9 歯肉移植を伴う骨切除の症例 …… 26

2. 歯根破折 …… 30 ■

CASE 10 矯正の挺出を優先した症例 …… 32

CASE 11 外科的挺出が有利な症例 …… 33

3. 重度の歯周病 …… 34 ■

CASE 12 歯周外科に加えて自然挺出をはかった症例 …… 34

CASE 13 長い上皮付着の短縮をめざして歯周外科を行った症例 …… 35

4. 穿孔（髓床底、根管） …… 36 ■

CASE 14 髓床底の穿孔に内側から対応した症例 …… 37

CASE 15 根管の穿孔に外側から対応した症例 …… 37

5. 難治性の根尖性歯周炎 …… 39 ■

CASE 16 歯根端切除術を行った症例 …… 39

CASE 17 意図的再植の症例（歯根端切除が部分的に不可能か危険であるとき） …… 40

6. 重度の歯周病と誤診されやすいケース …… 41

CASE 18 重度の分岐部病変と誤診されやすいエンド由来の病変 …… 41

CASE 19 強い咬合性外傷を伴う症例 …… 42 ■

7. どうしても保存できないとき他の部位から歯牙移植 …… 43 ■

CASE 20 保存不可能なときに行う自家歯牙移植 …… 43

8. 抜歯するときでも他の部位での活用を考える …… 44

CASE 21 分割保存しても清掃が困難な $\bar{8}$ を1根のみ前方部位へ移植した症例 …… 44 ■

まとめにかえて

インプラントと従来の治療 …… 46 ■

CASE 22 保存の難しい天然歯を救うためのインプラント …… 46

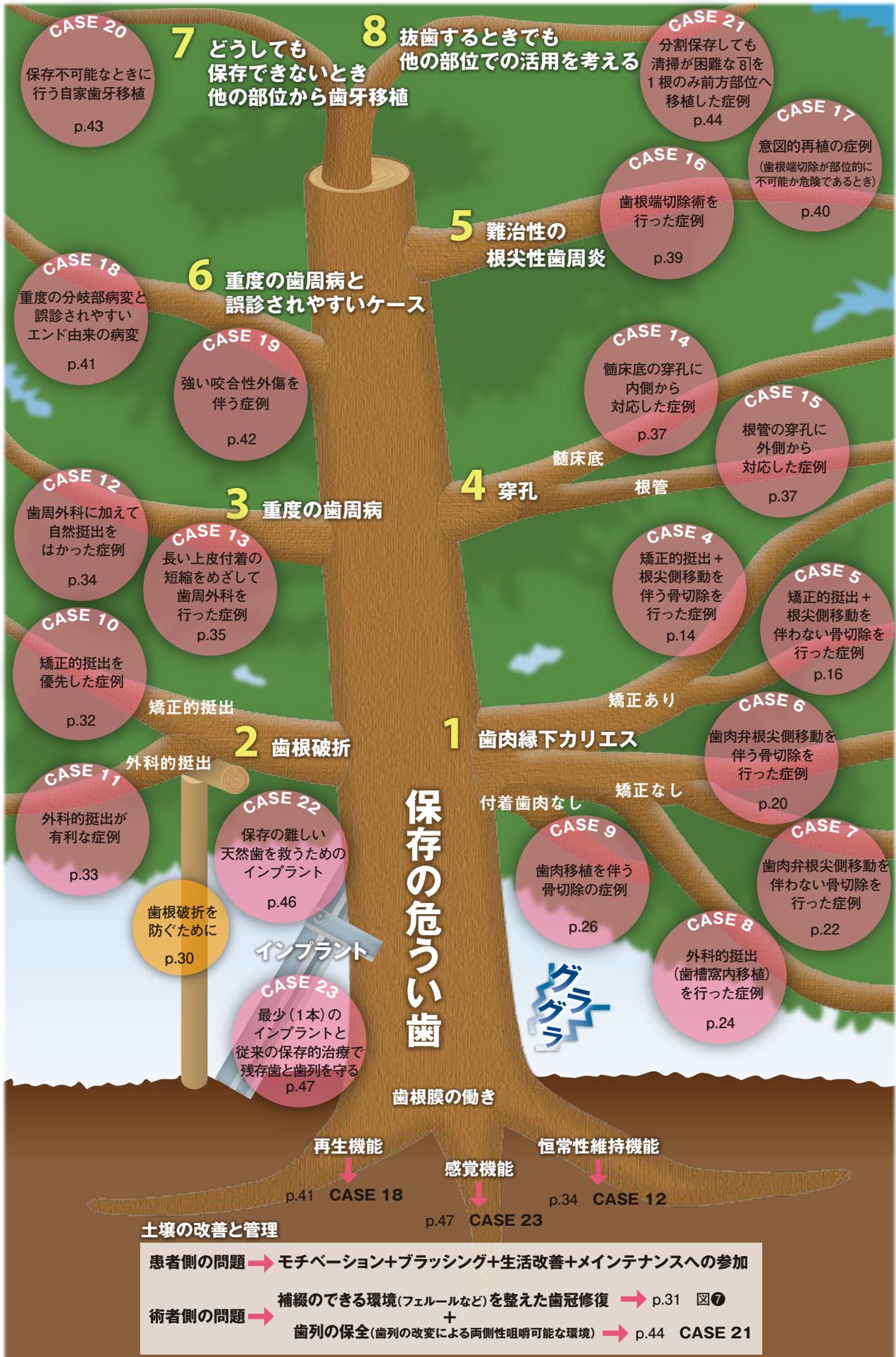
CASE 23 最少（1本）のインプラントと従来の保存的治療で残存歯と歯列を守る …… 47 ■

抜歯される原因

抜歯される原因は1〜6があげられる。対応について、それぞれ参考症例を右頁のデシジョンツリーに示した。

保存できない時の
次の手

出現
インプラントの



CASE 20
保存不可能なときに行う自家歯牙移植
p.43

7 どうしても保存できないとき他の部位から歯牙移植

8 抜歯するときでも他の部位での活用を考える

CASE 21
分割保存しても清掃が困難な8を1根のみ前方部位へ移植した症例
p.44

CASE 17
意図的再植の症例(歯根端切除が部分的に不可能か危険であるとき)
p.40

CASE 16
歯根端切除術を行った症例
p.39

5 難治性の根尖性歯周炎

6 重度の歯周病と誤診されやすいケース

CASE 18
重度の分岐部病変と誤診されやすいエンド由来の病変
p.41

CASE 19
強い咬合性外傷を伴う症例
p.42

CASE 14
髄床底の穿孔に内側から対応した症例
p.37

CASE 15
根管の穿孔に外側から対応した症例
p.37

4 穿孔

3 重度の歯周病

CASE 12
歯周外科に加えて自然挺出をはかった症例
p.34

CASE 13
長い上皮付着の短縮をめざして歯周外科を行った症例
p.35

CASE 4
矯正の挺出+根尖側移動を伴う骨切除を行った症例
p.14

CASE 5
矯正の挺出+根尖側移動を伴わない骨切除を行った症例
p.16

CASE 10
矯正の挺出を優先した症例
p.32

矯正の挺出

1 歯肉縁下カリエス

CASE 6
歯肉弁根尖側移動を伴う骨切除を行った症例
p.20

付着歯肉なし

矯正なし

CASE 17
外科的挺出が有利な症例
p.33

外科的挺出

CASE 22
保存の難しい天然歯を救うためのインプラント
p.46

歯根破折を防ぐために
p.30

インプラント

CASE 9
歯肉移植を伴う骨切除の症例
p.26

CASE 7
歯肉弁根尖側移動を伴わない骨切除を行った症例
p.22

CASE 23
最少(1本)のインプラントと従来の保存的治療で残存歯と歯列を守る
p.47

CASE 8
外科的挺出(歯槽窩内移植)を行った症例
p.24

保存の危うい歯

歯根膜の働き

再生機能

恒常性維持機能

感覚機能

p.41 CASE 18

p.47 CASE 23

p.34 CASE 12

土壌の改善と管理

患者側の問題 →モチベーション+ブラッシング+生活改善+メンテナンスへの参加

術者側の問題 → 補綴のできる環境(フェルールなど)を整えた歯冠修復 → p.31 ☑
+
歯列の保全(歯列の改変による両側性咀嚼可能な環境) → p.44 CASE 21